

◆ 松尾崇市長インタビュー・登録に向けた世界遺産行政の今 ◆

登録に全力「ユネスコに、トップの思いを伝える」

いよいよ来年（平成25年）6月に、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の可否が決まります。ここに至って、松尾崇・鎌倉市長は、どのような世界遺産行政を思い描かれておられるのか。あしかけ3年目に入った鎌倉世界遺産登録推進協議会会長の立場も踏まえて、語っていただきました。



❖世界遺産のあるまちづくり推進検討委員会を設置

今年から市内の横断的な世界遺産登録に関連する課題解決のプロジェクトを立ち上げ、関係する部局が集まって『世界遺産のあるまちづくり推進検討委員会』を作りました。大谷雅実副市長をトップにして、7月からは世界遺産登録推進担当担当次長を特命でおき、一つ一つ具体的な課題解決のアクションを起こして行く態勢をつくりました。

❖「武家の古都・鎌倉」見守り事業の立ち上げ

市民に主導的にかかわっていただくアクションとして、世界遺産見守り事業を立ち上げました。東日本大震災地の大船渡（岩手県）の高台にある国指定史跡「蛸の浦遺跡」の保存問題からヒントを得ました。津波の被害で、住民は高台に移転したいという気持ちを持ち始めたようでした。遺跡の場所に移ればいいではない

かという住民の意見で、生命が大事か遺跡が大事かという論争になりました。

やはり住民が日ごろから遺跡を大切に思って、内容を知っていれば絶対起きないことでした。鎌倉にも同じような状況のところがあるのではないかと思います。地域の方々がいつも管理をしていくとあるということ、地域の住民が常に愛着を持っているということが大事と考え、そういう経過で生まれたものです。

❖大倉幕府跡の検証

荏柄天神社参道脇のマンション建設問題の中で、大倉幕府跡の存在が色濃く出てきました。行政としては大倉幕府の検証を次のアクションとして、優先順位を高くして取り組んでいかなくてはならないと思っています。

❖世界遺産行政を振り返って

当初は現状を見ても受け入れ態勢ができていないし、登録だけが先行していいのかという危惧がありました。また、市民に十分意味が理解されておらず、時期尚早ではないかという思いもありました。問題を解消するために動いていくということが、いま置かれた私の立場で最善を尽くすことだと考え、やる以上は全力でやろうと思いました。

7月にはバリのユネスコ本部に行って木曽功大使とも意見交換してきました。トップの思いを伝えてこられたということは、私としては大変重要なことだと思っています。

Watch! the 世界遺産

登録目前、市民と行政の取り組みをウォッチ！

日本語・英語・中国語・韓国語対応！
4県市協同のホームページを開設

<http://www.bukenokoto-kamakura.com/>
「武家の古都・鎌倉」の構成資産を持つ神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市が、その価値や魅力を紹介しています。英語・中国語・韓国語圏の友人・知人の皆様にも、ぜひお知らせください。

携帯web!

「歩いて巡ろう 武家の古都・鎌倉」

<http://www.f-museum.com/>

湘南工科大学との協働で、インターネットを使った携帯電話版・鎌倉世界遺産ガイドシステムがスタートしました。「武家の古都・鎌倉」の詳細や、各候補地のガイドが見られます。

世界遺産登録啓発マグネットシートに注目！

まちで見かける市の公用車が、世界遺産登録推進のシールを貼って走っています。コピーは3種類、気品のある紫色に。いつもの市の車も少し華やいているようです。



市の公用車が一斉に「世界遺産のまちづくり」。

市民と協働でスタート!

「武家の古都・鎌倉」見守り事業

鎌倉市とボランティアの市民団体が連携して、鎌倉市内の歴史的遺産を日常的に守るために「武家の古都・鎌倉」見守り事業をスタートしました。5つの市民団体が、史跡やその周辺の環境保全に協力します。例えば、ゴミや倒木などが発見された場合、5つの団体は速やかに市に連絡するなどして、鎌倉を見守ります。

5団体の紹介

- ①鎌倉風致保存会……鎌倉の歴史的景観や緑地保全活動を行う。
- ②鎌倉ガイド協会……市内の史跡や文化財を案内する団体。
- ③鎌倉ガーディアンズ……地域の安全活動を行うボランティア団体。
- ④ハイキング・クリーン……市内ハイキングコースなどの保全を行う。
- ⑤キープ鎌倉クリーン……他市とも連携し、湘南の環境保全活動を行う。